

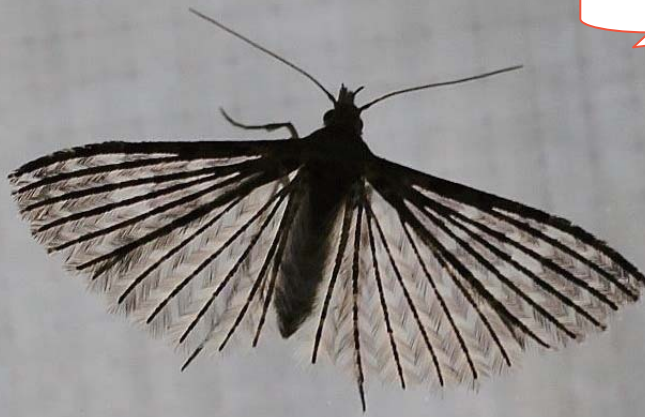
網張ビジターセンター ニュースレター



Amihari
visitor center

Vol.53
2014.3

翅脈は何本あるでしょう？



優雅な翅で登場！



amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori

* 網張の森の生き物たち *

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori

幻のように現れ…消えた“ヤマトニジュウシトリバ”

まだまだ寒さの厳しい2月のある日、事務所内の窓辺に小さな小さな虫がいました。この季節に飛ぶものと言えば“ユスリカ”かな？と半ば決めつけて見てみたところ、「ん？」ユスリカとは何かが違う…。ルーペを使って拡大して見てみると、フワフワとした毛に覆われた翅が扇子のように広がっていました。アップで見る翅は本当に美しく、小さいながらも優雅な雰囲気を出していて「これが本当にガなの？」と半信半疑でした。

このガは成虫越冬するようですが、どのようなところに棲み、何を食べて過ごすのかなど不明なことが多いミステリアスなガです。次の日には姿が見えなくなっていて「あれは幻だったのでは？」と思うほどとても印象的でした。この厳しい季節、どこでどのように過ごしているのでしょうか？ひと時だけ姿を見せてくれた小さなガは森の不思議を投げかけてくれました。

What is
“yamatonijuushitoriba”

「鳥の羽のようなガ」

ニジュウシトリバガ科
開張：13～16mm
分布：北海道～九州
発生：年2～3回

「鳥の羽が24本ついているガ」というのが名前の由来とされる。幼虫はスイカズラ科の花を食べるが成虫が何を食べるかは不明。クジャクのような美しい翅を持つ。

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomori

岩手山の お花たち アクリル標本が112枚

展示コーナー紹介 その⑥

網張デジタルセンター常設展示の自慢の一つに、高山植物や溶岩をアクリル樹脂で封じ込めた標本があります。

一つ 20 cm四方の標本が並び、窓からの光りや個別の照明で照らし出されます。中身は全て本物。



(写真右上)は岩手山に咲く主な高山植物のコーナー。(写真左)は網張の森の新緑と紅葉をイメージしたコーナーです。

色あせしない事や、標本を何度も取り替える必要が無いことなどで導入されました。全部で112枚。まるで水族館の中に居るようです。下の写真はほんの一部で、岩手山の大自然で有名なコマクサをはじめとする高山植物、噴火で飛び出た溶岩の塊、その他コケや樹木の葉っぱなどが並び、楽しむだけではなく、学習教材としても打って付けです。



キヌガサソウ



コマクサ



白いコマクサ



溶岩とアカミコケ



ムラサキヤオシ

おしえて

今どきの「網張の森」
散策の見どころは？

森の中では早春の
行進曲が聞こえます



ユキクロカワゲラ



踏んだ所がもりあがって残ったウサギの足跡



跳ね上げた雪が凍ったテンの足跡

雫石町方面の今年の冬は、完全な山雪型。里では少なかった雪ですが網張では大雪に見舞われました。

それでも雪は少しずつ解け、網張の森に差し込む日差しは春の足音を聞かせるようになって来ました。真冬には見られなかった動物たちの活発な行動が雪面のあちらこちらに見られます。目をこらさなければ見えないほどのカワゲラの仲間が、雪上を沢に向かって競争しています。

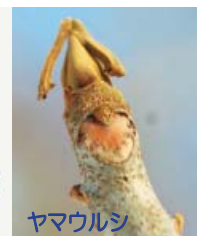
野鳥たちも森に戻って来ました。コンコンとコゲラの採餌の音がします。キツツキたちのドラミングの音もまもなくです。

冬芽も負けじと背伸び

一見眠っているかのような冬芽。実は毎日少しずつふくらみを増しています。動物たちに負けまいと、春に向けた準備をしているのです。



トチノキ



ヤマウルシ

工藤義之さんの水彩画エッセイ（最終回）

一年間にわたり水彩画エッセイ“岩手山”を掲載させていただき、いかに岩手山が素晴らしい山であるかを書かせていただきましたが最終回となりました。最後に、世界遺産ともなった日本一の富士山にも対抗できるほど美しいと私たちに思わせる南部片富士の名前に相応しいポジションから見た絵を御紹介したいと思います。

盛岡市内の北上川に架かる明治橋のそばから望んだ岩手山です。初夏の空気の澄んだ時には、光の当たり具合で山の陰影がはっきりと見えて、不思議なほど近く感じられ、さらには谷の岩肌や木々の茂り具合までもはっきりと見える時があります。ビル群の向こうに鎮座する岩手山はまさに盛岡の住民にとっての宝です。



真冬、盛岡市の郊外、繋温泉のダム湖“御所湖”から望んだ岩手山です。岩手山から網張、秋田駒ヶ岳まで広い範囲まで見ると、雄大な南部片富士の姿を感じることが出来ます。春の、岩手山と湖面に映った逆さ岩手山の景色も素晴らしいのですが、湖面が凍って雪に覆われ、雪をかぶった岩手山が、まさに岩手山らしく見えるので冬景色の風景を選びました。



一年間連載した水彩画エッセイも今回が最終回。十和田八幡平国立公園の一つのシンボリック的存在である岩手山のさまざまな表情を見ることができ、貴重な作品を提供して下さいました作者の工藤さんに感謝です。氏は現在、新作に意欲的に取り組んでおられ、網張VCで今年度作品展を予定していますので皆様お楽しみに！



ようこそ 網張へ ビジターさんにインタビュー

三月の巻

・春のお彼岸というのに網張は連日の大雪、そんな中、ビジターセンターを訪れてくれたのは常連の菅野俊子さんと加賀三郎さん。菅野さんは盛岡市本町通りの有名な和菓子店「梅月堂」のおかみさん。加賀さんは空手の指導者で長年の山仲間。「今日は鞍掛山の途中まで登ってきました。静かに降る雪を通して見えた景色が墨絵のように美しかった」・どの季節の山がお好きですか？「どの季節もそれぞれに良さがあ。これからは雪に埋まった木の根元がほっこり開いて春が近づいてきた感じも好き」・全く同感です・山に来るのは元気をもらいにくるの。疲れた時でも自然のおいしい空気を吸って、いい景色を眺めて、出会った人たちと心地良いコミュニケーションを交わして戻ってくると今日も楽しい一日だったなあ、また明日から元気に働こうと思うの」・山ですれ違っても不機嫌そうにあいさつしない人がいます・「こちらから声をかけるの。お互いの垣根をとっばらって心を解放したほう楽しいでしょう」・なるほど。ところで網張ビジターセンターの印象はどうですか？

「もっと近くだったらしょっちゅう来たいと思う。ここは、来る人によっていろいろな楽しみ方ができる施設でしょ。もっと利用しないともったいないので、周りの人に声をかけて紹介しているのよ」・恐縮です・「今、展示中の子供たちに自然を体験させたり、登山道を修理しているボランティアの姿に感動しました。私たちが鞍掛山で補修丸太を運び上げたりして、できる範囲でお手伝いをしています。これからも公園保護の活動をしている人の紹介をお願いしますよ」・山に対して自然体で前向きに接しておられる姿勢が素敵でした。



2月22日(土) 「巖鷲/滝スノーハイク」



鞍掛沢の源流に懸かるこの時期しか見られない貴重な滝と出会いました。
◆参加者 26名 パーブウエイ 9名
滝沢市山岳協会のご協力により、岩手山の麓、標高 1,000m、ブナ原生林に囲まれ静かに氷結した滝に近づくことができました。

3月9日(日) 「鎌倉森雪上トレッキング」

新雪に輝く360度の山岳展望に息をのみました。
◆参加者22名 パーブウエイ7名
前日までの猛吹雪がウソのように晴れ渡り、あまりの展望の良さに参加者全員大興奮！
一つ一つ山名を確認しました。



*インフォメーションコーナー 詳しいお問い合わせは網張ビジターセンターまで

「網張雪上ハイキング」
(ミニ自然観察会)

4月2日、4日、6日、9日、11日
13日、16日、20日

網張ビジターセンター集合
10:00~11:00 定員 10名
参加費小学生以上一人300円

「根開きのフナノ森で春を探そう」

4月12日(土)

まだ豊富に雪が残る網張峠ゲレンデから春を探して兔平を目指します。

網張ビジターセンター集合 9:30~14:00
定員 20名
参加費大人800円 小学生600円(温泉入浴料込)



「早春の網張自然観察会」

4月27日(日)

雪解けの冷たい川でミスバショウの白い仏炎苞が輝き、南からの海鳥も姿を見せます。

網張ビジターセンター集合 9:30~12:30
定員 20名
参加費大人500円 小学生300円

● 現在開催中の網張ビジターセンター企画展 ● 3月1日から4月30日までビジターセンター展示コーナーにて

国立公園でのボランティア活動知っていましたか?

「パークボランティアの魅力」



国立公園の中で環境整備や自然ふれあい活動が無償で行っている「パークボランティア」と呼ばれる人たちがいます。十和田八幡平、三陸復興、磐梯朝日の東北各地の国立公園で彼らがどんな活動をしているのかパネル展示で紹介しています。
訪れてくれる人々が豊かで美しい自然環境を楽しんでいる陰で、黙々と汗を流すボランティアの方々の笑顔がとっても素敵です。



岩手山地区パークボランティアの原 由美さん

いつか一緒に過ごした方の中に「大好きな自然を守り次の世代に残したい」と思ってくれる人が出てくれば良いと思っています。

- ★ 環境省盛岡自然保護官事務所からのお知らせ ★ この春から東北各地で国立公園施設が続々オープンします。
- ・十和田ビジターセンター (十和田八幡平国立公園) : 5月20日 『みちのく潮風トレイル』も昨年、八戸市蕪島から久慈市小袖まで開通!
 - ・中の浜キャンプ場 (三陸復興国立公園) : 5月24日
 - ・碓石海岸インフォメーションセンター (三陸復興国立公園) : 5月25日
 - ・八戸インフォメーションセンター (三陸復興国立公園) : 7月20日

モモンガのつぶやき

冬芽の観察中に「冬芽の皮って紅葉の色と同じなんですか?」の質問。…そう言われてみれば、モミジ類は赤・イタヤカエデは黄色・ブナやミズナラは茶色・ホオは黒茶・トチも茶色…! お〜新発見! と思ったが、まてまて、マユミは緑なのに真赤に紅葉、黒っぽいコシアブラは白に近い黄色ではないか。論文発表は無理か…。



(森ぴー)

十和田八幡平国立公園 網張ビジターセンター

来館者数 ◆ 1月 1,366人 ◆ 2月 1,054人
朝9時のビジターセンター平均気温 ◆ 1月-7.3℃ ◆ 2月-6.7℃
発行 網張ビジターセンター運営協議会
郵便番号 020-0585 岩手県岩手郡雫石町長山小松倉 1-2 (網張温泉)
TEL 019-693-3777 FAX 019-693-3778
URL <http://www17.ocn.ne.jp/~amihari/>
E-mail: amihari@vanilla.ocn.ne.jp
開館 冬期(3月末まで) 毎週火曜日休館 9時~17時
夏期(4月~10月) 休館日なし 9時~17時